



送辞

凍える冬の寒さも和らぎを見せ始め、新たな春の煌めきを感じられるようになりました。本日、日高高等学校を卒業される先輩方に、在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、こうして、先輩方を前に立っていると、先輩方と過ごした思い出が蘇ってきます。常に先輩方は、私たち後輩の憧れの存在でした。日頃から私たちを教え導き、時に優しく、時に厳しく、たくましく引っ張ってくださった先輩方の姿は、まさに、私たちの理想であり、目標でありました。先輩方のような3年生になりたい、そう、私たち在校生は皆思っています。

学校生活を思い起こしてみても、部活動や文化祭、体育祭等の学校行事において先輩方は、その卓越したリーダーシップで先頭に立ち、チームやクラスをまとめて一つになる姿を示してくれました。私たちは、その団結するさまにいつも圧倒され、心動かされました。

特に、文化祭の舞台発表や模擬店は、全員で一つの事を成し遂げる素晴らしさ、学年、クラスの仲間たちと協力する楽しさを感じさせるものでした。その一丸となって挑む姿勢とそこから生まれる成果を私たちは肌で感じ、来年は先輩方のように、楽しみながらも何事にも真摯に取り組み、多くの人の心に響く演技や活動をしたい、と強く思いました。

このように、先輩方と過ごした日々は、私たち後輩にとって掛け替えのないものばかりでした。二年間という月日は、確かに短い時間だったかもしれませんが、その思い出の一つ一つは私たちの誇りであり続けることでしょう。私たちの目標、そして、憧れでいてくださった先輩方と今日という日をもってお別れとなってしまうのは、私たちにとって、耐えがたい悲しさ、寂しさで一杯です。しかし、先輩方がいなくなっても、その不安を乗り越え、私たちは、先輩方が、この日高高校を卒業して良かった、と思える学校を維持し、守ることを使命としていきます。

これから先の人生において、先輩方でも乗り越えることが困難な壁が立ち足かることも多くあると思います。しかし、先輩方ならこの日高高等学校で学んだこと、たくさんの仲間と培った経験を糧として、そして、武器として、きっと、壁を打ち破ることができると信じています。ですから、自分の道を信じ、これからも頑張ってください。私たちはずっと、先輩方を応援しております。

最後になりましたが、未熟な私たちをその温かい優しさで導いてくださった先輩方に心より感謝申し上げ、先輩方のこれからのご健勝とご多幸をお祈り致しまして、送辞と致します。

令和二年二月二十八日

在校生代表 古部 了大(ふるべ りょうた)

